

2月まで終わらない？バンコクのクリスマス

バンコック駐在員事務所
新宅 令康

サワディーカップ。ここバンコックは乾季に入り、朝晩は気温が20度程度まで下がるため、比較的過ごしやすい季節になっています。とはいえ、常夏の国であるタイでは日中は依然として気温が30度前後あり、初めてタイでクリスマスシーズンを迎えた私にとっては「クリスマスらしさ」を実感することは至難の業でした。

しかしながら、街中では大きなクリスマスツリーがいたるところに設置しており、歩道などもイルミネーションで派手に飾られています。クリスマスソングもデパート・飲食店などあらゆるところで流れています。



ちなみにタイは仏教国で国民の90%以上が仏教徒であることから、欧米のようにクリスマスをお祝いする習慣はありません。しかしながら、お祭りや賑やかなものが大好きなタイ人は、イルミネーションで彩られた街の至るところで写真撮影を行うなど、クリスマス特有の賑やかな雰囲気は大いに堪能しているように見えます。

さらに驚くことにクリスマスシーズンに街を彩るイルミネーションは、2月のバレンタインの時期まで続くそうです。新年を迎えて二週間以上経過した現在においても、イルミネーションは残り、飲食店ではマライア・キャリアの「All Want For Christmas Is You」が繰り返し流されています。

バンコックにお越しになるなら、乾季で過ごしやすく、新年を迎えてもクリスマス気分が味わえるこの時期(1月～2月)も趣があってよいかもしれません。



<クリスマスを過ぎても彩られた街並み>